



千八百七十二年十二月二十二日發兌  
 ヘラルド新聞抄譯  
 日本理財ノ實況

4243



濟善







4243

差急半扣本騰寫不致候間高覽  
濟次第脚下相成度候也





114  
A1421



日本理財ノ實況

大正十一年  
侯爵

既ニ西南事件ノ艱難憂苦ヲ拂除シ去  
 其官省諸衛ハ殆ント皆十重荷ヲ脱却シ其官  
 吏ハ怡々トシテ安慰ノ思ヲ為スニ至レリ然ト  
 モ此時ニ際シテ獨リ然ラサルモノハ其大藏卿  
 及ヒ屬僚是レナリ如何トナレハ内ハ以テ政府  
 身代限ノ憂ナク外ハ以テ苟クモ政府ノ体面ヲ  
 汚スコトナク攷々汲々トシテ國家ノ財計ヲ籌  
 畫整理セサル可ラス且ツ從來着手セル許多ノ  
 事業モ亦維持セサル可ラサレハナリ蓋シ其事



業ハ政府ノ之ヲ補助スルト否ラサルトニ因テ  
其存亡ニ係ルモノナリ

今マ日本政府ノ体面ヨリ我輩ラシテ之ヲ評論  
セシメハ未タ其措置ニ毫厘モ挫折ノ色ナシト  
云フ可シ如何トナレハ仏國ノ博覽會ニ日本ノ  
名誉ヲ揚輝セシカ為メニ其處置ノ寛裕ナルモ  
ノアリ又六個月ヲ以テ澳洲ニ向テ發航セシト  
スル一ノ軍艦アリ或ハ一今年ヲ以テ輓近歐洲  
ノ近海ヲ航遊セントスル軍艦アリ或ハ英國ニ  
付囑シテ三艘ノ軍艦ヲ新造シタルコトアリ

或ハ官者ノ土<sup>工</sup>陸續トシテ落成スルアリ  
テ未タ独り着午セサルモノハ一天萬衆ノ君主  
ノ宮室是レナリ之ヲ今日マテ期延シタルハ國  
帑ノ窮迫ニ因ルト云フト虽氏抑モ亦至尊ノ人  
君ガ克己ノ義徳ヲ表旌シタルノ一例ト云ハサ  
ルヲ得ズ

曩キニ日本大藏卿ガ千八百七十六年ヨリ七年  
ニ亘ル周密詳明ノ豫算ヲ調理シタルヤ殆んど  
不測ノ苦辛ヲ以テ恰モ千七百九十六回ノ餘剩  
ヲ出シタルニ相違ナシ然ルニ俄然西南<sup>後</sup>起



リシヲ以テ其豫算ノ紛乱シタルヲ知ルヘシ是レ  
大藏卿ノ大ニ憂苦スル所ナルヘシ然リ而シ  
テ本年六月三十日ヲ以テ其會計年度ヲ終ハル  
ニ當テ變乱ノ為ニ費消セル所ヲ算スレバ假令  
ヒ正金ニ非ザルモ免ニ尙二千万有餘ノ金額ハ  
其金庫ヨリ出タルヘシ此金額ヲ費消シタルハ  
畢竟勢ノ不可止モノアリテ然ラシメタルモノ  
ナレバ我輩ハ之ヲ天為ニ帰シテ敢テ語ラスト  
虽此之レガ為メニ其豫算上ニ大ナル不足ヲ醸  
生シタル以上ハ大藏卿ハ明カニ一ヲ公シル

ヲ至要ノコトニ思フベシ  
大藏卿大隈氏ハ曾テ本年ト前年トノ歳入歳出  
比較表及ヒ豫算表ヲ明示スル事ヲ決シタルノ  
ミナラス其實際ノ歳出入ノ精算書ヲ公布セント  
ヲ決定シタルガ如シ是レ蓋シ我輩ガ数々此事  
ヲ採用セン事ヲ懇進シタルヲ以テナルヘシ然  
リ而シテ数年前ニ前ノ大藏大輔ガ公布シタル  
計算書ノ如キハ我輩ノ日本ニ於テ初メテ見タ  
ル処ナリ其計算ニ依レバ毎年百万圓ノ不足ヲ  
生ス而シテ之ヲ公布シタルハ日本ノ理ハ正ニ



大ニ有害物タルノ故ヲ以テ自カラ其儘  
 裁スルニ至レリ是ヨリ以後毎年公布スル処ノ豫  
 算ニ幾分カ其餘剩アルヲ明示セリ然ルガ故ニ千  
 八百七十五年ヨリ六年ニ亘ル會計年度前ノ豫  
 算表ハ皆現時ノ大藏卿ニ依テ誤謬アルモノト  
 着認セラレタルガ故ニ亦憑據スヘカラサルモ  
 ノト者做ニタリ

我輩ハ日本ニ變事ノ起ラザラン事ヲ切望シタ  
 ルガ故ニ曩キニ大藏卿ニ忠告シタル所アリシ  
 ガ果シテ西南ノ擾乱發起シタルヲ以テ前

即チ「ラ」ニ父  
 ノ事

算表ハ既ニ畫紙ニ屬シタルモノト如シ  
 幸ニ日本政府ヨリ発行シタル紙幣ハ融通ノ便  
 ヲ得タルヲ以テ大ニ利セル所アリント云ハサ  
 ルヲ得ス

今我輩ハ日本理財上ノ実況ヲ明説セントスル  
 ニ當リ横濱居留人「エフ、エル」氏ヨリ「ウオールト」  
 新聞ニ寄送セル通信書ノ如キハ瑣屑ニ屬スル  
 ヲ以テ之ヲ放擲シ去テ我輩ハ書記官「マオンセ  
 」氏ノ報告（千八百七十七年三月二日）及ヒ千八百七十六  
 年ノ日本銀行條例及ヒ日本通貨ノ事ニ於テ「エ

倫  
 敦  
 版



正、レ、シヤント、ト、氏ノ見込書ト此二者ヲ取、其、実  
況ヲ開陳スルコト也ノ如シ

抑モ千八百七十七年六月三十日ニ終ル會計年  
度マテニ内乱ノ為メニ不足ヲ生シ其出入相償  
ハサルモノハ少クモ貳千万円ニ下ラサルヘシ  
今此不足ヲ填償センニハ其豫算表ニ據テ見ル  
片ハ臨時豫備金貳千八百万円アルヲ以テ是ニ  
テ十分ナルヘシ而シテ紙幣頭ノ前書託官シヤ  
ント、ト、氏此人ハ當年三月  
既ニ帰國セリ云ラク日本政府ハ数年間造  
カニ正金ニテ豫備金ヲ貯蓄セリ一時ハ其金額

貳千万円トナリシガ臺灣ノ役ニ共、致、分、ヲ、費、消、セ  
リ而シテ余ガ帰國ノ時ニ当テ其金額恐ラクハ  
千五百万円ニ減シタルヘシ其後ニ至ソテ尚ホ  
之ヨリ減少シタルヤ否マハ我輩ノ得テ知ラザ  
ル所ト虽トモ窵カニ掛念スルニ今回ノ内乱ノ  
為メニ悉皆之ヲ費消スルニ及バレカト

今大藏卿ノ豫算シタル臨時豫備金貳千八百万  
円トシヤント、ト、氏カ記載セル豫備金今五百万円  
トヲ以テ果シテ同一ノ豫備金ヲ指示セルモノ  
トセバ我輩ハシヤント、ト、氏ガ記載シタル処ヲ以



テ正確ノ豫備金ト看做サバルヲ得ス然レトモ  
 西南事件ノ為メニ盡ク之ヲ罄竭シタルモノト  
 シヤンド氏ガ臆断シタルハ我見ト矛盾ス如何  
 トナレバ外國ヨリ新タニ買入レタル軍器、彈藥  
 等ノ費用凡ソ五百万圓ト見積リ之ヲ除クノ外  
 此事件ノ為メニ費ヤシタル金額ハ悉皆紙幣ヲ  
 以テ措辨スルヲ得タレバナリ是レ我輩ノ敢テ  
 疑カレザル処ナリ果シテ然ラバ前會計年度(八  
 百七十六年七月ヨリ本  
 年六月三十一日マテ)ノ間ニ日本政府ハ新々  
 ニ千五百万ノ紙幣ヲ発行シタルモノト測定セ

サルヲ得ス是ヲ以テ之ヲ觀レバ其豫美々於テ  
 流通紙幣高九千四百万圓ト計算シタリシモ今  
 ハ増加シテ壹億九千万圓ノ高トナリタルヘシ  
 又是ニ反シテ豫備ノ正金ハ千五百万圓ヨリ壹  
 千万圓ニ減少シタルベシ  
 本會計年度(千八百七十七年七月一  
 日ヨリ八年六月三十日マテ)ノ初ニ当  
 テ反賊尚ホ未タ撲滅セス九月下旬ニ至テ始メ  
 テ靜定シタルガ故ニ六月ヨリ九月迄三ヶ月間  
 ノ費用(軍費、兵士ノ凱旋、及ヒ解隊ノ費用、賊徒裁  
 判ノ為メニ仮設シタル臨時裁判所ノ費  
 用并ニ鹿兒島縣下雜費、民救恤)ハ二千万圓ヨリ  
 ノ費用及ヒ其他諸費



下ラサルヘシ今此費用ヲ填塞スルニ当リ前會  
計年度ノ不足ヲ填補シタルガ如ク同轍ニ出タ  
タルモノト假想セバ正金ノ豫備金ヨリ五百万  
圓ヲ出シ餘ル千五百万圓ハ新々ニ紙幣ヲ發行  
シタルベシ果シテ然ラバ流通ノ紙幣高ハ尚ホ  
嵩ミテ億貳千四百万圓トナリタルヘシ又正  
金ノ豫備ハ尚ホ減シテ五百万圓トナリタルヘ  
シ然レ而シテ本會計年度ニ於テ第十五国立銀  
行ヨリ千五百万圓(年五分ノ利子ナリ)ヲ借り又華士族ノ  
祿券壹億八千萬圓(五分ノ利子ナリ)ヲ發行スルヲ

以テ内國債ハ愈々嵩ミタルニ相違ナシ但シ華  
士族祿券ノ総利子ハ壹千壹百万圓ナリ而シテ之  
ヲ以テ世襲ノ俸祿壹千五百万圓(前キノ豫美ヲ表ニ依ル)ヲ  
年々拂出スモノニ比スレバ年ニ五百万圓ヲ餘  
ス道理ナリ  
又本年一月四日ノ詔書ニ因テ地租ハ其市價ノ  
二分五厘ニ減少セラレタルガ故ニ前年ノ歳入  
ニハ八百万圓ノ減少ヲ生シタル理ナレ氏客歳  
十一月ニ於テ既ニソノ地租ヲ徵收シタレバ其  
豫算上ニハ絶テ影響シタル處ナシ然レ氏客



會計年度ニ於テハ全ク其歳入ニ八百万田ノ減  
少アリ故ニ前豫算表ニ於テ地租四千六百万田  
ト算定セラレタルモ本年ノ豫算ハ三千八百万  
田ナルヘシ然リ而シテ此歳入ノ減少ヲ填償セ  
ンガ故ニ莫大ノ冗員ヲ沙汰シ以テ實際至要ノ  
人員ニ減セシコトヲ決シタリ蓋シ官衙十省ノ  
内九省ノ役員合計六千零三十九名ニシテ一  
年ノ口千八百田ノ俸給ヨリ百五拾口ニ至ルマ  
テ其間各差アリト云フ而シテ其冗員ハ之ヲ汰  
シ或ハ又其幾分カノ人員ヲ再挙シテ結局冗員

ヲ沙汰シタルヲ以テ年ニ六千八百三拾万田ノ  
餘分ヲ出セリ然ルニ西南ノ擾乱起リシガ為メ  
ニ不祿頗フル繁劇ヲ生シ曩キニ沙汰セラレタ  
ル者ハ幾分カ尚ホ再挙セラレタリ而シテ今ヤ  
本會計年度ノ半期殆レド經過シタルモ今日ニ  
至ルマテ政府ニ何等ノ变革アリシヲ聞カス  
扱テ本年ノ歳入ニ地租八百万田ノ減少アリシ  
ヲ以テ之ヲ填塞セシガ為メニ華士族祿制ニ因  
テ六百万田ノ餘剩ヲ出セリト虽モ尚ホ貳百万  
田ノ不足アリ而シテ正金ノ豫備ハ今ハ五百万



四ニ減少シタリ又流通ノ紙幣高ハ始メ九十四  
百万四ナリシモ今ハ既ニ嵩モテ壹億貳千四百  
万四ニ増加シタリ又利子附ノ内国債ハ始メ三  
千万四ナリシモ今ハ嵩ミテ二億二千五百万四  
ニ増加シタリ而シテ今マ内国債有利子無利子  
ヲ合セテノ總計ハ去年ノ計美ニ依レバ一億四千八百九  
十二万四千七百二十六四ナリシモ本年ハ三億  
七千九百万四ニ増加シタリ  
讀者ハ既ニ明知シタル如ク第十五国立銀行ハ  
即チ華族銀行ニシテ本月中旬以後ニ開業シタ

リ而シテ其資本千七百八十二万六千四ナリ最  
キニ此銀行ヨリ政府ガ千五百万四ヲ借受シタ  
ル時事情ハ稍々奇ナルモノト云ハザルヲ得  
ス故ニ我輩ハ不日之ヲ繰述シテ読者ニ報道ス  
ルコトアラントス扱テ日本ノ銀行條例ニ因レ  
バ資本ノ八割ヲ以テ公債証書ヲ買收シ以テ之  
ヲ大藏省ニ預ケ其代トシテ銀行紙幣ヲ受領ス  
ルモノナリ但シ其受領高ハ預ケタル公債証書  
ノ相場高ヨリ超過セザルモノトス又資本ノ二  
割ヲ以テ銀行紙幣交換ノ為ニ準備ト為ルニ



其発行紙幣高ト準備金トノ割合ハ二割一ハナ  
リ但シ其準備ハ必ラスシモ貨幣ヲ以ラスト云  
フニ非ス紙幣モ亦可ナルモノトス  
抑モ華士族ノ俸祿統合ノ制ニ因レバ華族ハ利  
子附公債証書三千万有餘ヲ有ト為ス而シテ其  
証書ニテ千四百貳拾六万零八百四ノ高ヲ政府  
ニ預ケ其餘ハ通貨ニテ三百五拾六万五千貳百  
四ヲ出シ合計千七百八拾貳万六千四ヲ以テ其  
銀行ヲ設立シタルモノナリ然リ而シテ其証書  
即チ秤券ハ之ヲ賣買或ハ質入スルユト能ハザ

ルガ故ニ其券面上ノ價額ヨリ決シテ騰貴スル  
コトナシ是ヲ以テ政府ハ其受領シタル高ニ当  
ル銀行紙幣ヲ以テ華族銀行ニ交付スルハ当サニ  
然ルヘキモノナルニ却テ之ヲ為サス只斯ノ如  
ク借り受ケタル証書ノ利子五分ヲ以テ年々其  
銀行ニ交付スル而已然レ其銀行ニ於テ銀行紙  
幣ヲ以テ營業センガ為ニ尚ホ免許ノ証書ヲ預  
ケタルヤ否ヤ我輩ホク之ヲ聞カス而シテ斯ノ  
如キ銀行ヲ設立シタルハ畢竟銀行ノ趣旨ヲ違  
スルモノナル乎抑モ亦政府ノ権力ヲ以テ華族



ノ財ヲ借り之ヲ仮<sup>假</sup>粧スルノ方便タルニ  
予我輩未タ之ヲ解スル能ハザルナリ  
又其祿制ニ因レバ士族モ一億五千万円ヲ有ト  
ナス而シテ此モ亦賣買質入スルコト能ハス只  
其利子アル而已士族社會中此証券ヲ以テ既ニ  
亦銀行設立ヲ企ツルモアリト云フ果シテ是レ  
アリトセバ其宜シキヲ得ルニ於テハ大ニ利ア  
ルハ今若シ士族輩ガ各所ニ銀行ヲ設立シ其  
祿券ノ半額即チ七千五百万円ヲ以テ大藏省ニ  
預ケ該省ニ於テ此高ニ当ル所ノ銀行紙幣ヲ交

付シ以テ之ヲ流通セシメバ世上果シテ何等ノ  
紙幣ノ汎濫ヲ生スルヤ未タ知ルヘカラス抑モ千  
八百五十六年ノ銀行條例ニ於テ銀行ノ準備ヲ  
特ニ貨幣ノニニ限ラサルヲ以テ天下ノ人心漸  
ク銀行設立ノ癡狂病ニ感染セラレタルモノハ  
如ク然リ試ミニ者ヨ今春以來設立ノ銀行ハ二  
十有餘ニシテ其発スル紙幣高ヲ合算スレバ二  
千二百万円ナリ然リ而シテ輓近政府ハ大分ノ  
公債証券ヲ発行シタルガ故ヲ以テ人心漸ク動  
搖シテ此癡狂病ハ愈々蔓延セザルヲ得



テ然ラバ到底通用紙幣及ヒ銀行紙幣ノ汚劣墜  
落スルニ至ルマ必然ノ勢ナリ若シ事茲ニ及ハ  
、日本ノ金銀貨幣ハ地ヲ拂フニ至ルヘモ  
却説我輩ガ日本理財ノ実況ニ就キ前章ニ掲ケ  
タル計美ヲ以テ世人果シテ何等ノ思想ヲ喚起  
スルヤハ知ラザレ氏我輩ハ此美当ヲ以テ誤謬  
ナキモノト確信ス苟モ日本人民ニシテ此計美  
ヲ見バ誰カ亦感慨ヲ起サズルモノ無ランヤ而  
シテ日本大藏卿ハ客歳ノ實際ノ歳出入計美書  
ヲ製スルハ寔ニ不快ノコトナガラカノ及フ丈

ケ速クニ去年ノ精善書ヲ製シ以テ之ヲ公布ス  
ルハ当サニ然ルヘキコトナリ  
我輩密カニ思フク日本ハ早晚尚ホ外債ヲ徵募  
セサルヲ得サルヘシ若シ此時ニ及シテ之レガ  
至要ノ方便トナルヘキモノハ即チ國家理財ノ  
実況是レナリ故ニ宜シク其实況ヲ晴天白日ナ  
ラシメテ苟モ誤謬曖昧ナク世人ヲシテ迷津ノ  
嘆ナキヲ要スヘシ是レ我輩ノ切ニ希望スル處  
ナリ







